

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日: 2025年(令和7年)7月1日

会報 第140号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【本部事務局】〒369-1246 埼玉県深谷市小前田1552-1

TEL 048-580-7048 FAX 048-580-7049

E-mail info@aac21.net

【カンボジア事務所】Royal park condo, Street 608, Toul kok, Phnompenh, Cambodia (855) 17-599-707

【ホームページ】[カンボジア支援](#) 検索【公式ブログ】[メコンの風に吹かれて](#) 検索

今年早くも2度目のカンボジア訪問でした

3月22日～4月14日、早くも今年2度目のカンボジア訪問でした。前回(1月～2月)、今回と連続して小学校校舎の贈呈式があり、やむを得ず短期間に2度の訪問になりました。

今度も前回に増して大勢の会員さんが同行してくださり、現地では有意義な3週間を過ごしました。

3月26日に行われた小学校校舎の贈呈式には、新潟市から2人の高校生が参加してくれました。まだ16歳、あどけない笑顔に60年前の自分に思いをはせました。あの頃は海外旅行なんて夢のまた夢、県外にすら出ることがない自分でしたが、今や海外渡航150回を超えました。これも長い間活動に従

「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」と石川 桂さんが協力し小学校の校舎が完成

「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(本部=新潟市・石川幸夫代表)、及び石川桂さん(愛知県在住の協力者)が資金提供して小学校の新校舎が完成、3月26日に贈呈式を行った。同小学校も、建設費用の一部を負担した。新校舎は3教室の平屋建て。すぐに授業ができるよう、予算内で机(椅子付き)や黒板などの備品も備えられた。

完成したのは「ジーパオ小学校」(コンポンチャム州スレイソントー郡・生徒数=235人)、プノンペンから車で約2時間の所にある。

「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(9名)の皆さんは3月25日にプノンペン国際空港に着き、26日に贈呈式に出席した後27日～28日はシェムリアップに移動し、アンコールワット観光を楽しんだ。28日に在カンボジア日本大使館を訪問後、プノンペン国際空港から帰途についた。

贈呈式には同グループと石川さんの他、地元から教育関係者、村人、生徒ら約500人が出席した。本会からは根岸理事長以下6名が出席した。

式典では、同グループの石川幸夫代表、石川桂さん、根岸理事長らがお祝いの挨拶を述べた。石川幸夫代表と石川桂さんに、カンボジア政府から感謝状とメダルが授与された。

生徒たちには、同グループから学用品セットが全員に配られた。



完成した新校舎前で生徒たちと記念写真



校舎を寄贈した石川幸雄代表(右から2人目)と石川桂さん(右)

在カンボジア日本国大使館を訪問

3月28日、カンボジア訪問中の「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」一行、石川桂さん、本会会員ら16名がプノンペンにある「在カンボジア日本国大使館」を訪問、植野特命全権大使に面会し「ジーパオ小学校」に校舎を寄贈したことを報告した。

今回の大使館訪問は、校舎を寄贈した一人である石川桂さん(愛知県在住)の友人である大西健介国會議員と植野大使が同郷で親しい間柄であることから、大使館訪問が実現した。

一行は大使公邸の応接間にて植野大使と約1時間歓談し、貴重なお話を伺うことができた。



大使公邸で記念写真

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次



4つの小学校に学用品を配布しました

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

例えば80年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。



里親さんありがとう

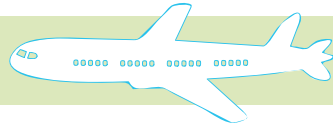
【教育里親会費】子ども1人につき 1年間3万円。
(活動のための諸費用含む)

- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらでも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
・里親から手紙、プレゼントが届けることができます。
(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)

多くの会員さんがカンボジアを訪問しました



91歳、生徒に囲まれてお元気な石川さん



「桐生赤城ロータリークラブ」の皆さん



学校訪問し生徒の歓迎を受けた五井さん



学校訪問し学用品を配布した佐々木さん



小学校で生徒と交流した島田さん

里子訪問した向田さん



根岸理事長がカンボジア滞在中（3月22日～4月14日）、今回も多くの会員さんが来訪してくれた。各人がそれぞれ渡航目的を持ち、支援と交流活動に力を注いでくれた。感謝！

- 「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」（本部＝新潟市秋葉区・団体会員）
3月25日～29日、小学校校舎贈呈式出席、アンコールワット観光、その他。9名参加。
- 「スピリチュアルコーディネーター協会」（本部＝東京都港区・団体会員）
3月24日～30日、小学校遊具贈呈式出席、アンコールワット観光、その他。6名参加。
- 「桐生赤城ロータリークラブ」（本部＝群馬県桐生市・団体会員）
3月31日～4月4日、小学校訪問（4年前に寄贈した井戸贈呈式を実施）、アンコールワット観光、その他。7名参加。
- 石川桂さん、永井進二さん（愛知県在住の協力者）
3月23日～29日、小学校校舎贈呈式出席、小学校訪問、大使館訪問、その他。
- 佐々木英介さん（東京都在住の会員）
3月23日～4月9日、小学校訪問、里子訪問、大使館訪問、その他。
- 五井瑞枝さん（神奈川県在住の会員）
3月24日～4月9日、小学校訪問、里子訪問、大使館訪問、その他。
- 向田三代子さん（東京都在住の会員・理事）
3月24日～30日、小学校訪問、里子訪問、大使館訪問、その他。
- 島田知美さん（シンガポール在住の会員）
4月1日～4日、小学校訪問、里子訪問、その他。

五つの小学校に遊具と井戸を寄贈



「スピリチュアルコーディネーター協会」の皆さん



オンラインで生徒が交流



「カンボジア教育支援西予」が寄贈した井戸



武藤和義・康代さん夫婦が寄贈した井戸



- ▶3月18日、現地スタッフが「トゥールクポス小学校」（コンポンチャム州・生徒数＝363人）を訪問、「カンボジア教育支援西予」（代表＝広瀬稔さん・愛媛県在住の会員）が寄贈した遊具の贈呈式を行った。愛媛県の山合いにある小さな小学校と同校をZoomで結び、オンラインで生徒間の交流を行った。
- ▶3月25日、「スピリチュアルコーディネーター協会」の皆さんと根岸理事長、現地スタッフが「ナックタスヌン小学校」（クラチェ州・生徒数＝750人）を訪問、同団体が寄贈した遊具の贈呈式を行った。
- ▶4月7日、根岸理事長、会員の佐々木さん、五井さんと現地スタッフが「クロヴィアントム小学校」（トゥボンクモム州・生徒数＝652人）を訪問、「カンボジア教育支援西予」（代表＝広瀬稔さん・愛媛県在住の会員）が寄贈した井戸の贈呈式を行った。
- ▶4月8日、根岸理事長、会員の佐々木さん、五井さんと現地スタッフが「ボンルーアナコット小学校」（クラチェ州・生徒数＝43人）を訪問、武藤和義・康代さん夫妻（長崎県在住の会員）が寄贈した井戸の贈呈式を行った。ご夫妻が結婚55周年を記念して寄贈してくれた。
- ▶4月8日、根岸理事長、会員の佐々木さん、五井さんと現地スタッフが「オオタニアン小学校」（クラチェ州・生徒数＝476人）を訪問、武藤和義・康代さん夫妻（長崎県在住の会員）が寄贈した井戸の贈呈式を行った。ご夫妻が、奥様の喜寿を記念して寄贈してくれた。

シェムリアップ市内で2階建てバスに試乗



2階建てバスに試乗

3月27日、シェムリアップ市内を巡る2階建てバスを試乗してみた。所要時間は2時間、午後4時・6時・8時の3便あるが、午後4時～6時のコースに乗ってみた。シェムリアップ在住の鈴木理事が同行してくれた。シェムリアップ市内からアンコールワット遺跡の近くまで行き、再び市内に戻るコース。夕暮れ前だったので2階は暑かったが、1階はエアコンがあつてとても涼しかった。料金は7ドル、20人前後の外国人が乗っていた。ガイドさんの英語による説明もあり、2階からの眺望も良く、シェムリアップへ行く機会のある方、一度は乗ってみる価値がある。（根岸）

楽しかったディナークルーズ



楽しかったディナークルーズ

3月26日、小学校の贈呈式も無事終わったので、カンボジアを訪問中の皆さんは慰労を兼ね、プノンペンでメコン川ディナークルーズを楽しんだ。「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」、「スピリチュアルコーディネーター協会」、本会会員の皆さんら約20人が参加した。心地よい爽やかな川風に誘われ、きれいな夕日と鮮やかな夜景を堪能し、素敵な癒しの時を過ごした。

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- 国内では円安、現地カンボジアにおきましては物価が高騰しておりますので、やむを得ず里子へのプレゼント代を下記の通りに値上げさせていただきます。どうぞご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。
- 事務局に届いた里子プレゼントにつきましては、年に1～2回程度になりますが、空港から持参させていただきます。暫くお時間を頂きますので、なるべく海外送金可能な現金をお送りください。

現地購入品目一覧表

- 自転車(中古品) 9,500円
- お米(50キロ入り) 5,500円
- 通学用カバン 3,500円
- サッカーボール 3,000円
- ティシャツ2枚&サンダルセット 2,500円
- お菓子セット(お菓子の詰め合わせ) 1,500円
- 文房具セット(ノート、筆記用具類) 1,500円

※同封の振込票にてご送金をお願いいたします。



里子への奨学金を 3ヶ月に1回届けています

現地カンボジアでは、教育里子が通学する小学校(現在25校)を現地スタッフが3ヶ月に1回のペースで訪問、教育里親より頂戴した年会費の中から4回に分け、カンボジア通貨(リエル)に換金して奨学金を届けている。(今年から年4回に変更)

中学校、高等学校に通う教育里子も卒業した小学校に集まり、奨学金を受け取っている。

3月29日～4月5日の間に2人の現地スタッフ(ドライバー含む)が各小学校を訪問し、奨学金と教育里親からのプレゼントを届けた。



奨学金を届けました

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在202人(4月末日現在)の子どもたちを教育支援している。

今年から奨学金配布を年6回↓4回に変更(3月・6月・9月・12月)、教育里子への支援金額を、教育里親年会費の45%に当たる3、500円にアップした。3ヶ月に1回の支援金額は22・5ドル(現地通貨で9万リエル)(1ドルは1500程度で換算)。

3月29日から4月5日にかけて、断続的に里子が学ぶ小学校を訪問し、奨学金をお届けした。根岸理事長、向田理事、佐々木会事、五井会員、島田会員が同行した。



写真=右から

- ホーン・スレイレンちゃん(里親は吉見さん)
- リー・ソジアターちゃん(里親は佐々木さん)
- ドム・セイハー君(里親は高木さん)
- ソック・ラックサー君(里親は小田さん)
- ベッチ・パンニヤー君(里親は高橋さん)
- ユン・ウィリアット君(里親は竹内さん)

(アンクロン小学校)

クメール教育里親基金活動レポート

投稿 カンボジア研修を終えて

渡邊 一加(新潟県立新津高等学校2年生)

3月26日、石川社長が長年続けられている小学校建設の竣工式に参加させて頂いた。プノンペンの街は想像以上に整備されていたが、小学校に向かうにつれ、未舗装の道路が広がり、都市部と農村部の大きな格差を目の当たりにした。

学校に通えるだけでも裕福で、家計を支えるために退学し仕事をせざるを得ない子供たちがいるということに驚いた。また麻薬や交通事故といった危険が日常の一部になっている現状は、カンボジアの経済状況や治安の悪さと直結していると感じた。

竣工式は地域の方々や子ども達が朝から多数集まり、この支援がどれほど現地の人々に感謝されているかが伝わってきた。カンボジアの子ども達はとても可愛く、現地の方々との交流は忘れられない経験となった。

日本の支援が歓迎される一方で、かつて日本もカンボジアから食糧支援を受けていたことを知り、支援を通じた交流が、良好な国際関係を築いているのだと感じた。

石川社長や根岸理事長の長年の支援活動に深く感銘を受け、自分も何か行動を起こせる人になりたいと強く思い決意を新たにしている。

最後にこのような貴重な経験をさせていただけたことに、心より感謝申し上げます。

投稿 新鮮な体験

佐藤 楓歩(新潟県立新津高等学校2年生)

私は5日間、研修という形でカンボジアを訪れました。入国すると、冬の日本とは真逆の暖かい気温や三車線で走っている車、交通手段のルールの違いに驚かされました。

私にとって、初めての海外入国のため不安も多かったのですが、社長や現地の方々のおかげで無事帰国することができました。本当に感謝しています。

入国してから2日目に、ジーパオ小学校の竣工式に参加しました。先生や子どもたち、地域の方々が朝七時から集まってくれていたと聴き、驚きと同時に感謝の気持ちが溢れてきました。

私は今回の研修に参加し、改めて教育環境の差を感じました。地方の学校では教師が少なく、生徒が多いため、午前と午後の部に分かれて3時間ずつ学習を行い、授業では国語、算数、クメール語を学んでいると伺いました。しかし、都市部の学校では1日中授業を行っていることと知り、一つの国でありながら知識量に差が出ると思いました。

式典の中で、校長先生のお話に耳を傾けていたところ、子どもたちは時々笑顔を見せていたので、雰囲気の良い学校だと感じられ、この雰囲気と、生徒と教師の関係が続いて欲しいと思いました。

竣工式の最後に、子どもたちへ文房具を配りました。笑顔でお礼を言いながら受け取ってくれた子どもたちの表情は忘れたいと思います。

これからも、多くのことを学び、より良い暮らしを手に入れていってほしいと思います。

投稿 花の館

今 紀子(東京都在住 会員)

都会に住んでいると、庭を持つのは不可能だ。私は、窓辺にいつも花を絶やさないようにしている。

過日、花を求めた。一本の茎に七輪の蕾がついている。白い大輪の花が開いた。百合のようでもあり、カサブランカのようでもあり花の名を確かめなかった事を悔いた。

長女(長男?)から順に花開いていった。順調に四女五女…。問題は、末っ子の末生り(うらなり)君である。咲くだろうか。

ある日、花びらがわずかにほころんだ。しかしそれっきり開かない。花びらに何か支障をきたしたようである。次の日も次の日も…。気が付くと、中から芯が伸びている。花びらが開かないのであれば、シベだけでもと思ったのか。子供が背伸びして太陽をつかまえようとしているかのように、小さなほころびからいっせいに腕を伸ばしている。何という命力!しかるに、シベという漢字には、心が三つもあるのだ。

花びらを開くのは、人間の目をまどわすまやかしではないのか。君たちの任務は、他にあるのだ。

我が家に潜入して三週間。君たちは、任務をまっとうした。見とどけた。もういい。もうお帰り。君たちの世界へ。

そして、いま、私の窓辺には、真っ赤なチューリップが艶然とほほえんでいる。

投稿 フルーツの王様ドリアン

青木 貴之(KHJグループ総務)

カンボジア語でドリアンの事を「トゥーレーン」と言います。3～4月が旬と言いますが、最近は年中売っています。日本では凄く臭いという噂だけが広まっていますが、新鮮なドリアンは全然臭くありません。あえて言えばフルーティーな香りがします。

値段は大きさにより10～25ドル程度でフルーツの中では超高級です。味はクリーミーなバナナ、超濃厚栄養満点という感じで、まさに王様が食べるに相応しい食べ物です。

しかし、あまりに栄養満点な味なので、美味しいのにたくさんは食べられません。1玉を4～8人で食べるのが良いです。

最近は田舎でドリアンの木を植えるのが流行っています。しかし、土壌の性質でどこでも実がなるとは限らないそうです。カンボジアの田舎にドリアン成金が大量に発生する日は来るのでしょうか。



市場で売っているドリアン



◀贈呈式に参加した地元の皆さん



⇒贈呈式に参加した日本の皆さん



⇒渡邊 一加さん(左から3人目と佐藤楓歩さん(左から4人目)

本会の会員状況をお知らせいたします

(2025年4月末日現在)

●教育里親会員	161名
●個人会員	55名
●団体会員	11団体
●寄付協力者(随時)	30名
合 計	257名

書き損じハガキ・未使用切手
・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビール券やデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局便り

5月3日と4日、都内の代々木公園イベント広場で「カンボジアフェスティバル」が開催され、本会も出店しました。両日も好天に恵まれ、大勢のお客様が来場されました。その様子は次号にて報告いたします。

今年1月〜4月にかけて、根岸理事長が2度にわたりカンボジアを訪問しました。この間多くの会員さんも訪問してください、有意義な日々を過ごしました。次の理事長によるカンボジア訪問は来年1月〜2月を予定しています。日程が決まり次第会報でお知らせしますので、ぜひご参加ください。

次の会報は9月初め頃に発送する予定です。今号に載せることが出来なかった記事等、カンボジア訪問時の様子を引き続き掲載しますので、お楽しみにお待ちください。

今年もあつという間に半年が過ぎてしまいました。これから本格的な夏を迎えます。暑さ対策、熱中症対策を忘れず、日々快適に過ごしましょう。

Zoom オンラインで
里子と交流しました

4月3日、現地スタッフらが里子へ奨学金を届けるため小学校を訪問する中、金柿さん(東京都在住の会員)からの依頼で、現地で暮らす里子とZOOMオンラインで面会、交流した。

カンボジアでは地方にWIFIがないためモバイルネットワークを駆使してのオンラインだったが、約15分会話することができた。

オンラインで里子と対面、交流を希望する方は事務局に連絡を。

Zoom
オンラインで
里子と交流

懐かしき1枚

本会が発足して間もない2003年頃の懐かしい写真。地元のNGOと連携し、カンボジア人女性を対象にミシンによる職業訓練活動を実施して成果をあげました。

写真提供: 遠藤 啓会員

活動に参加しませんか

正会員として

- 教育里親会員(年額3万円)
子どもたちへ直接払う年額
1万3千5百円(45%)
会の運営に回す年額
1万6千5百円(55%)
- 個人会員(年額5千円)
- 団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

口座名

21世紀のカンボジアを支援する会

ゆづり銀行

019支店 当座 0160916

りそな銀行

練馬支店 普通 4098235

● ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

● 会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

春さんのカンボジアレポート
～カンボジアから日本へ国費留学～

日本には諸外国に対して国費留学制度があります。対象は学生、公務員、および一般市民で、国際航空運賃、授業料、宿泊費、生活費を含む全額です。

留学先は大学院、大学学部、専門学校です。令和2年時点での留学生総数は279,597人で、その内の国費留学生は8,761人で全体の3.1%となっています。カンボジアからは令和6年(2024年)は34名採用でした。

カンボジアの令和7年留学希望者の条件は、大学学部の場合は25歳未満(2001年4月2日以降生まれ)で、10点満点中7点以上のGPAで高校を卒業、11年生又は12年生(高二、高三)の成績報告書の提出が必要。留学先の専攻は、法律、政治学、社会学、文学、経済学、経営学、数学、物理学、化学、工学、医学、農学です。

申請者は英語または日本語に堪能で、心身ともに健康で学業に専念している事、そして選択した分野に関連する数学、英語、日本語、科学の科目の入学試験があります。

(写真出典: Khmer Times)

2025年度 日本政府奨学金受給者34名の壮行会

国費留学生の壮行会

理事・会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)

歌手の山口かおるさんが
「神戸ユネスコ小学校」に学用品寄贈

3月30日、根岸理事長と現地スタッフが神戸ユネスコ小学校(ストックアイトロミヤ小学校・コンボンチュナン州、生徒数=220人)を訪問、歌手の山口かおるさんが資金提供し、現地購入した学用品セット(220人分)を持参しお届けした。

山口さんは同協会の会員でもあり、2019年にはカンボジアの別の小学校に、井戸を1基寄贈してくれた。

同小学校は2012年、神戸ユネスコ協会(本部: 神戸市中央区、当時は加藤義雄会長)が5教室の校舎を寄贈し、その後図書館や井戸、遊具、サッカーコートなどを寄贈、子どもたちの教育支援に多大な貢献をしてくれた。

コロナ禍もあってなかなか訪問することが出来なかったが、久しぶりに同小学校を訪問、寄贈した校舎のペンキを塗り替え、トイレや水道設備が新たに設置されていた。

生徒たちは学用品セットをもらい、とても喜んでいた。

山口かおる ディナーショー

⇨ディナーショーで熱唱する山口かおるさん

生徒全員に学用品を届けました

教育里親会員 入会申込書

年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年 月 日
住所	(TEL)		
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [] 人 2. サポートして下さる子どもの性別 ① 男の子 ② 女の子 ③ どちらでも 3. その他 [具体的に]		

* 入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。